

第3学年A組 音楽科学習指導案

1. 題材名 楽曲の背景と音楽を関わらせ、味わい深く聴こう
教材名 「アランフェス協奏曲」

2. 題材について

《学習指導要領とのかかわり》

B 鑑賞 (1) ア 音楽を形づくっている要素や曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評して、音楽のよさや美しさを味わうこと。

イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。

[共通事項] ア 旋律、音色、テクスチュア、リズム、強弱、速度などの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。

(1) 題材観

インターネットが急速に普及し、生徒たちの周りにはあらゆる音楽が溢れかえり、YouTubeなどで簡単に聴きたい音楽が検索できる。自由に音楽を聴く環境であるが故、いわゆる流行や好きな音楽に偏り、一部の情報に惑わされ、多様な音楽を受け入れてそれぞれの楽曲そのものの良さや美しさを感じるに乏しくなっていくのではないかと感じている。新学習指導の導入を見据え、9年間の義務教育で位置づけられている音楽教育の在り方を再確認し指導していきたい。

これまで生徒たちは、小学校6年間を土台とし、まず、中学1年生においては、ソネットを手がかりに、曲想の変化を感じ取ることや詩の内容と曲想の関わりを感じ取ることをねらいとした学習を行ってきた。2年生では、曲の構成を理解して曲想を味わい、音楽の特徴やその背景を理解したうえで楽曲の魅力を感じ受することをねらった。3年生では、9年間のまとめとして、学習してきたことを生かしながら、楽曲の奥深さを感じ受し価値を考える学習を充実させたい。

本題材は、B鑑賞(1)アの「音楽を形づくっている要素や曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評して、音楽のよさや美しさを味わうこと。」イの「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。」に関する学習内容である。根拠を持って批評するということは、自ら楽曲の魅力を探り、自分なりの価値を見出すことができ、楽曲の理解や味わって聴くことにつながっていく。さらに、楽曲の生まれた背景や歴史、社会情勢を知ることは、楽曲への理解を深め、作曲者の曲にこめられた思いを想像し、根拠をもって批評する手立てのひとつにもなる。

授業を行う上で大事なこととして、生徒が興味をもって聴くことができる教材選びや導入の工夫である。受け身になりがちな鑑賞に体験的な活動を取り入れ、既習楽曲とも関連させ、主体的に取り組ませたい。体験的な活動として、導入にギターを取り入れる。鑑賞するにあたっては、聴く視点を具体的に示すことで、生徒がより楽曲の特徴を整理して聴くことができ、背景と結びつける糸口になる。生徒の実態を十分に把握し、より曲想と関連づけて聴くことができるような部分を選択し、音楽を形づくっている要素を絞って重点的に聴かせたい。また、実際に音楽を聴くにあたっては、生徒同士の交流の場を設け、一緒に音楽を聴いて価値を考えていくという授業形態を取り入れることとした。生徒が楽曲への興味・関心を一層高め、楽曲がつくられた背景と音楽を関わらせることで、総合してその楽曲の良さや美しさを感じ、幅広い音楽観を養うことをめざし、本題材を設定した。

(2) 生徒の実態

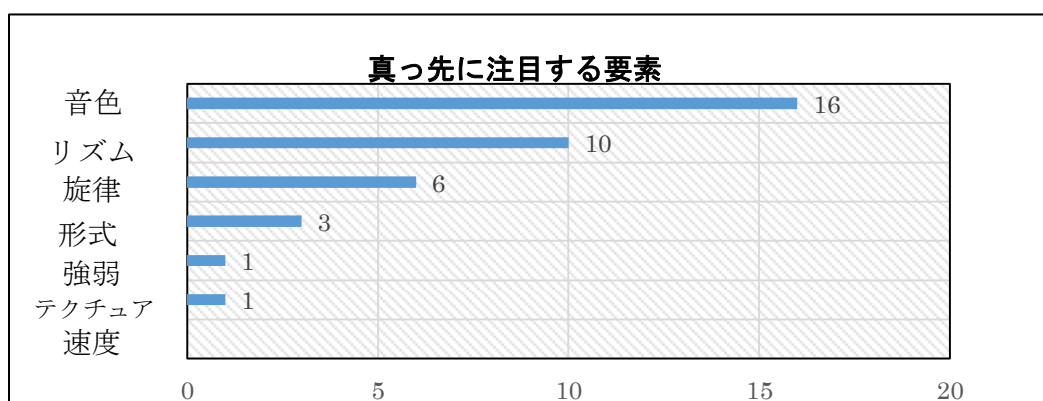
本学級は、音楽に興味関心が高い生徒が多い。先日行われた合唱コンクールでは、最優秀賞を逃したものの、歌詞の内容を十分に理解し、リーダーを中心に表情豊かな合唱を創り上げた。自由曲を選ぶにあたっては、歌詞の内容に注目し、自分たちが共感できるものを選択していた。曲を仕上げるにあたっては、音楽と歌詞を結び付けて全体で共有するなどして取り組む姿が見られた。

今回の検証授業を行うにあたり、鑑賞の授業について、以下のような事前調査を行った。

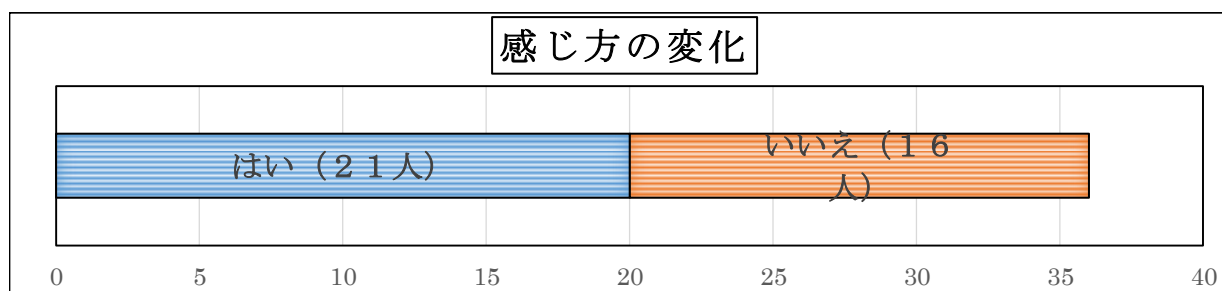
①音楽を聴くとき、以下のような音楽を形づくっている要素のうち、真っ先に注目するのはどの要素ですか。

<音楽を形づくっている要素>

音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式,



②前期の鑑賞の授業（「展覧会の絵」）では、作曲者の生い立ちやその楽曲がつくられた背景などを学習しました。その学習の前後で曲への感じ方が変わりましたか。



<考察>

音楽を形づくっている要素については、中学2年生時に学習している。スメタナ作曲の「ブルタバ」を題材に、リズム、音色を注目しどんな楽器がどのような情景を表現しているのかを聴き取る学習を行ってきたため、この調査では、音色やリズムに注目する生徒が多かったのではないかと思う。今回の授業で扱う要素は、そのような実態をふまえ、まずは生徒が注目しやすい要素を取り扱い、注目度の低いテクスチュアをさらに注目してほしい要素として、あえて取り扱うこととする。

前期の鑑賞では、「展覧会の絵」を学習した。楽曲の背景をどのようにとらえて楽曲を聴いたのかは、②のような結果となり、半数以上の生徒は、作曲者の生い立ちや背景を学んだことで、楽曲に対する感じ方に変化があったようだ。具体的にどのような変化があったと感じたかというところ「作曲者について学習したことを思い浮かべながら聴いたので深く感じる事ができた。」「最初はなんとなく良い曲だなと感じただけだったが、学習して曲を作ったときの心境を思い浮かべて音楽の明るさや暗さに感情が込められていると感じた。」「きいてみたら曲に惹きこまれた。」「音楽の明るさや暗さに感情が込められていると感じた。」などであった。この調査結果で、全員でとまではいかないが、楽曲の背景を知ることで、鑑賞する姿勢に深まりが感じられたといえよう。

そこで、本時の授業展開では、楽曲の背景（作曲者の生い立ちや社会情勢）と音楽を関連させた聴き方の工夫で、より味わい深く聴かせていきたい。

(3) 指導観

「アランフェス協奏曲」は、それぞれ雰囲気異なる3つの楽章で構成されているが、楽曲がつけられた背景から祖国を思うロドリゴの気持ちが推測できる。また、これまで学習してきた「ブルタバ」や「展覧会の絵」とオーケストラ曲であるという点で関連付けて学習することもできる。中学校での最後の鑑賞教材として、より楽曲を多角的にとらえ、作曲者の楽曲への思いを感じ取らせるために、全楽章を取り扱うこととする。音楽を形づくっている要素（旋律、音色、テクスチュア、リズム、強弱、速度）は、全楽章を通して扱い、聴く視点を明確にする。楽曲の背景に関しては、最初に楽曲に関する情報として示し、それぞれの楽章を聴く時に、関連付けて鑑賞させる。第1楽章は6分弱、第2楽章は、約11分、第3楽章は5分であるため、最初から一斉に鑑賞するのではなく、ヘッドフォンとイヤフォンスプリッターを活用し、グループで聴き取る場所を分担し、グループで話し合いながら、聴き深めていく。狭い音楽室で、異なる音楽をグループで聴くため、このような授業形態とした。授業のまとめとして、各グループで聴き取った内容を可視化して共有することとした。（板書計画参照）音楽の横の流れを視覚的にとらえることで、楽曲全体の特徴をとらえやすいのではないかと考えた。さらに、背景と関連付ける方法として、音楽の特徴と作曲者の背景を関連させ、ロドリゴの言葉を想像させることで、より作曲者の楽曲に対する思いを感じ取らせたい。さらに、感受したことをグループで伝え合う活動を取り入れることで、生徒が様々な感じ方があることに気づき、音楽に対する価値観の幅を広げるであろう。そして、友達を通して楽曲の良さや作曲者の思いを感じることで、自分自身の学習意欲を高め、この楽曲の奥深さを感じることができるのではないかと考える。

3. 題材の目標

- 楽曲がつけられた背景を理解し、音楽の特徴をとらえて鑑賞することができる。
- ギターの色や旋律の特徴と作曲者の心情を関連付けて聴き取り、楽曲の良さを他者に伝えることができる。

4. 題材の評価規準及び学習活動の具体的評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
アランフェス協奏曲のリズム、速度、旋律、テクスチャと曲想のかかわりや音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもって主体的に取り組もうとしている。	アランフェス協奏曲のリズム、速度、旋律、テクスチャを知覚しそれらが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解し根拠をもってそのよさを批評し味わって聴いている。

5. 研究の視点について

【視点1】9年間を見通した学び方の共有（9年間の学びの連続性の中で身に付けたい力）

○生徒の考えや思いを導き出すための手立て

指導要領上の「鑑賞」の指導内容を見ていくと、発達段階を追うごとに音楽を聴く視点が明確になっていき、音楽を形づくっている要素の働きを捉えていけるように指導していくこととなっている。

①楽曲を聴くとき聴く視点を具体的に示すことで、楽曲の特徴を整理して聴くことができると考える。その手立てとして、ワークシートの項目を工夫した。「色に例えると」という項目を設け、音楽的な特徴と歴史的背景を結び付けて、グループでなぜその色をイメージしたのかを考えさせたい。

②小学校では楽曲を聴いて自由に身体を動かして表現をしていたが、中学校では指揮を振ったりリズムを叩いたりすることで、楽曲の雰囲気を味わい、思いを持つ手立てとしていきたい。

○教具の工夫

本時ではイヤフォンスプリッターを活用して鑑賞を行う。イヤフォンスプリッターを使えば、他のグループの音と混ざって聴き取りにくくなることや、音量を気にすることなく、グループ全員で同じ音楽を聴いて話し合いに取り組める。発達段階に応じて少人数の活動を取り入れる時、学習活動で使用する道具も工夫し、生徒が集中して楽曲を味わえるように環境を整えていきたい。



6. 題材の指導計画及び評価計画（4時間扱い）

時	○学習内容と・学習活動	学習活動における具体的評価規準
1	<p>ねらい 音楽と楽曲の背景を関連づけて聴き、作曲者の思いを言葉で表現する。</p> <p>○ギターを体験し、楽器の音色や特徴を掴む。 ・簡単なコードでギターの体験をする。 ・ラスゲアド（和音のかき鳴らし）を体験する。</p> <p>○ギターと関連したその他の作品を視聴する。 ・「フラメンコ」</p> <p>○「アランフェス協奏曲」について学習する。 ・「アランフェス協奏曲」がギター協奏曲であることや演奏形態、3楽章で構成されていることを知る。 ・スペインの特徴的な音楽のリズム打ちを体験する。 ・それぞれの楽章の冒頭部分を聴き、おおまかな楽曲の特徴を知る。（構成、速さ、調性など。） ・作曲者ロドリーゴの生い立ちを知る。 ・作曲の経緯やスペインの社会情勢など歴史的な背景を理解する。</p>	<p>○ギターの音色や奏法に関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 （関心・意欲・態度）</p> <p>○音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもって主体的に取り組もうとしている。 （関心・意欲・態度）</p>
2	<p>○「アランフェス協奏曲」第1楽章を鑑賞する。 ・構成を確認する。（ソナタ形式） ・グループごとに聴き取る場所を分担し、それぞれの要素（旋律、音色、テクスチュア、リズム、）に注目して聴く。</p> <p>・楽曲の背景（スペインの音楽の特徴）に関連づけてロドリーゴの心情を話し合い、ロドリーゴの言葉を考える。</p> <p>・グループで相談し、それぞれの要素の特徴とロドリーゴの言葉（ロドリーゴになったつもりで心の叫びをひとこと。）をまとめ、ホワイトボードに記入する。</p> <p>・グループごとに発表する。</p> <p>○発表をもとに、音楽にこめられた作曲者の思いを探り、グループで共有する。</p> <p>・発表を聞き、楽曲全体の流れから、ロドリーゴがこの楽章に込めた思いを音楽の特徴をあげながら、今日の授業の振り返りをする。</p> <p>○第2楽章を鑑賞し全体をとらえる。</p>	<p>○音楽の特徴とその背景となる他の文化や他の芸術との関連に関心をもって主体的に取り組もうとしている。 （関心・意欲・態度）</p> <p>○アランフェス協奏曲の音楽を形づくっている要素（旋律、音色、テクスチュア、リズム）を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、その背景となる文化や他の芸術と関連付け、価値を考えて鑑賞している。 （鑑賞の能力）</p>

<p>3 本 時</p>	<p>○「アランフェス協奏曲」第2楽章を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成を確認する。(変奏曲形式) ・グループごとに聴き取る場所を分担し、それぞれの要素(旋律、音色、テクスチャ、リズム)に注目して聴く。 ・楽曲の背景(スペインの歴史やロドリゴの身にふりかかった出来事など)に関連づけてロドリゴの心情を話し合い、ロドリゴの言葉を考える。 ・グループで相談し、それぞれの要素の特徴とロドリゴの言葉をまとめ、ホワイトボードに記入する。 ・グループごとに発表する。 <p>○発表をもとに、音楽にこめられた作曲者の思いを探り、グループで共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞き、楽曲全体の流れから、ロドリゴがこの楽章に込めた思いを音楽の特徴をあげながら、今日の授業の振り返りをする。 	<p>○音楽の特徴とその背景となる歴史との関連に関心をもって主体的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>○アランフェス協奏曲の音楽を形づくっている要素(旋律、音色、テクスチャ、リズム)を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、その背景となる歴史と関連付け、価値を考えて鑑賞している。(鑑賞の能力)</p>
<p>4</p>	<p>○「アランフェス協奏曲」第2楽章を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回学習した内容を振り返り、全曲視聴する。 <p>【DVD(アランフェス宮殿内収録)】</p> <p>○「アランフェス協奏曲」第3楽章を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成を確認する。(ロンド形式) ・第1楽章、第2楽章の流れを踏まえたうえで、要素(旋律、音色、テクスチャ、リズム)に注目して聴く。 ・グループで学習してきたことを参考に、個人で考えをまとめながら聴く。 <p>○「アランフェス協奏曲」について、全曲通して振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽曲の特徴やその魅力を伝えるCDジャケットを作成する。 ・今日の授業の振り返りをする。 	<p>○音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもって主体的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>○アランフェス協奏曲の音楽を形づくっている要素(旋律、音色、テクスチャ、リズム)を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、その背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付け、価値を考え根拠をもって批評するなどし、ギター協奏曲のよさや美しさを味わって鑑賞している。(鑑賞の能力)</p>

8. 本時の学習 (3/4)

(1) 本時の目標

○音楽の特徴を理解し、背景と関連付けて楽曲にこめられた作曲者の思いを想像しながら聴くことができる。

(2) 学習の展開

時配	学習内容と学習活動	○教師のかかわり ◆評価規準	備考
5分	<p>1 ワークシートを見て前回の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロドリゴの生い立ちや生まれ育ったスペインの文化や歴史についての説明を聞き、楽曲についての情報を再確認する。 <p>2 配布されたワークシートの目標を確認し、今日の内容を理解する。</p>	<p>○前回のプリントは、事前に返却しておく。</p> <p>○楽曲の背景や作曲者に関する内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に配布したプリントと同じ内容の拡大図をホワイト黒板に掲示して説明する。 <p>○本時のワークシートを配布し、目標を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・拡大図
<p>音楽の特徴と楽曲の背景を関連付けて聴きロドリゴの思いを想像しよう。</p>			
15分	<p>3 「アランフェス協奏曲」第2楽章を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに分担された聴き取る場所を知る。 ・音楽を形づくっている要素（旋律、音色、テクスチュア、リズム）を聴き取る。 ・個人で聴き取った内容（音楽を形づくっている要素）をグループで共有し、意見をまとめる。 ・聴き取った内容を黒板に記入する。 旋律⇒ 短調 or 長調 音楽の雰囲気 (悲しみ, 怒り, etc.) 音色⇒ 色カード テクスチュア⇒ 伴奏楽器 リズム⇒ 一定のリズム (♪♪♪) が 反復 or 変化 	<p>○本日の活動内容について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートをもとに、グループごとに聴きとる場所を確認する。 <p>○聴き取る場所の前後やその他気になる部分の音楽も聴いて良いことを伝える。</p> <p>○話し合いが滞っているグループに助言する。</p> <p>○他のグループの意見を参考に修正してもよいことを伝える。</p> <p>◆アランフェス協奏曲の音楽を形づくっている要素（旋律、音色、テクスチュア、リズム）を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、その背景となる歴史と関連付け、価値を考えて鑑賞している。 (鑑賞の能力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・CDデッキ ・イヤフォン ・イヤフォンスプリッター ・CD ・フラッシュカード

<p>20分</p>	<p>4. ロドリーゴの思いを言葉で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一番印象に残っている部分の音楽はどこであるか、グループで意見をまとめる。 ・音楽にこめられた作曲者の思いを探り、グループで言葉を考える。 ・ホワイトボードに記入する。 <p>○発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で、聴き取った音楽の要素を黒板に示されている内容で確認する。 ・印象に残った音楽とロドリーゴの言葉をリーダーが発表する。 <p>・各発表を聴き、自分のワークシートに記入する。</p>	<p>○短い言葉で良いので、ロドリーゴになったつもりで、できるだけ感情が入った言葉にするよう助言する。</p> <p>○各グループが一番印象に残った音楽を事前に確認し発表の時に流せるようにしておく。</p> <p>◆音楽の特徴とその背景となる歴史との関連に関心をもって主体的に取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度)</p> <p>○黒板に貼ってある聴き取った音楽の要素を全体で共有する。</p> <p>○印象に残った音楽を流す。</p> <p>○ロドリーゴになったつもりで、感情を込めて発表するよう助言する。</p> <p>○黒板にホワイトボードを掲示する。</p>	<p>i-Pad</p>
<p>10分</p>	<p>6. 本日の学習内容の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート2を記入する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ロドリーゴがこの楽章に込めた思いを、音楽の特徴をあげながらまとめる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・発表する。 <p>7. 次回の学習内容を聞く。</p>	<p>○本日の目標を確認する。</p> <p>○音楽の特徴は、できるだけ具体的に書くよう助言する。</p> <p>○2～3人指名する。</p> <p>○次回は、第2楽章全曲と第3楽章を聴き、CDジャケットを作成することについてふれる。</p>	

(3) 板書計画

目標 音楽の特徴と楽曲の背景を関連付けて聴きロドリゴの思いを想像しよう。

1班 2班 3班 4班・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8班

A

短調

せつない

ギター

色カード

伴奏楽器

ギター

反復

--	--	--	--	--	--	--	--

ロドリゴの言葉